

茅広江さとだより

茅広江住民自治協議会
会長 片谷 慎一
令和8年2月発行

自治会部会

「茅広江さとだより」発行にあたって、一言ご挨拶申し上げます。平素は茅広江住民自治協議会の活動に対し、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。令和7年度の住民自治協議会の行事も市民体育祭、ふれあいまつり、ふれあいウォークラリー大会の三大



行事のほかに、皆さんにお渡ししました茅広江住民自治協議会の活動計画に従い、それぞれの活動を実施してまいりました。

市民体育祭では、早朝から準備をしていただき、午前中はつばな保育園の運動会、午後から地区の体育祭と、共同開催の線は崩さず、昨年度と同様、紅白に分かれ、楽しみながら競技をしました。今回、プログラムの変更も行い、よりみんなが参加しやすいような内容にしました。

ふれあいまつりでは、作品展示やゲーム、農産物の品評会や即売、焼き芋、焼きそば、豚汁の販売、JA みえなかいざわ支店の青果物の販売などを行い、たくさんの方々に来ていただきました。花苗の販売は、これまでお世話になっていた園芸店が廃業したということで、急遽、相可高校からパンジー、ビオラの苗を仕入れ、販売することとしました。

ふれあいウォークラリー大会は、今回、下茅原のコースで行いました。グループや家族で出発し、クイズや宝探しをしながらゴールをしました。「ぜんざい」は今年も好評で、とても寒い日でしたが、体を温めてくれたのではないかと思います。下茅原の皆さんには大変お世話になりありがとうございました。

一方、茅広江「猿追い隊」の活動では、松阪市の元気応援事業で活動資金の援助を受け、伊賀市阿波地区への先進地視察を行い、地域主体の追い払い活動について実践的に学びました。また、各地区に1台ずつ広帯域受信機を配備しましたが、松阪B群の発信機を付けた猿が群れから離れたため、新たに松阪B群の猿に発信機をつけてもらえるよう現在、行政に働きかけているところです。

さて、茅広江住民自治協議会のもととなる「まちづくり計画」が令和7年度で終了します。そのため、令和8年度からの「新たなまちづくり計画」の策定に向けて、本年度、地域内アンケートとサロンを2回実施し、幅広い方々の参加のもと計画の見直しに取り組んできました。令和8年5月の「新まちづくり計画」の配布に向けて最終の詰めの段階にきています。

最後に、今年度9月26日に南部福祉まると相談室が茅広江地区市民センター内に開設され、その活動がスタートしました。要配慮者食事サービスや、地域の敬老会へのまるとスタッフの応援などを得て、ともに活動してきました。茅広江住民自治協議会のこれからの活動は、この福祉まると相談室との連携により、その活動内容を拡げ、質を上げていくものと思われれます。今後も幅広い連携の在り方を模索していきたいと思ひます。

茅広江住民自治協議会
会長 片谷 慎一



健康福祉部会

健康福祉部会の活動について紹介させていただきます。5月17日(土)の見守りネットワーク活動で、花の寄せ植えを届けさせていただき、(対象者23名)同時に要配慮者食事サービスも実施しました。(対象者73人)5月21日(水)の健康ウォーキングでは、丹生大師へ20名で歩きました。全員が踏破しました。



6月7日(土)に茅広江グラウンドゴルフ大会を南小学校で開催し、28名参加いただきました。

7月17日(木)は、在宅介護者のつどいを開催し、25名参加いただきました。



9月13日(土)は、敬老者への慰問で、紅白饅頭を配布しました。(対象者71名)

10月11日(土)に、市民体育祭を開催し、139名参加いただきました。

10月18日(土)に、茅広江グラウンドゴルフ大会を南小学校で開催し、28名参加いただきました。



12月13日(土)に、見守りネットワーク活動(対象者23名)と要配慮者食事サービス(対象者70名)を実施しました。

1月25日(日)のふれあいウォークラリー大会は下茅原で開催し、139名参加いただきました。

2月7(土)に、要配慮者食事サービス(対象者67名)を実施しました。

2月23日(月・祝)の健康ウォーキングは、松坂城跡周辺の名所旧跡をまわります。

令和7年度も色々な行事を開催しましたが、たくさんの方にご参加・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

令和8年度もたくさんの方にご参加いただき、大いに盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

環境・安全防災部会

環境・安全防災部会の活動としましては、5月24日(土)、三地区合同の放水訓練を広瀬川原にて実施しました。消防団茅広江分団員の指導により2班に分かれて行い、三地区より56名が参加していただき、ありがとうございました。

10月26日(日)、三地区防災訓練は、松阪市防災訓練の日に合わせて実地しました。今回は三地区に分かれて炊き出し訓練を行い、雨天の中215名が参加していただきありがとうございました。(上茅原35名・下茅原83名・広瀬97名)



環境関係の活動としましては、5月24日(土)の放水訓練終了後、ササユリの生育状況調査を行いました。上茅原では太田集会所周辺の山の斜面、下茅原では茅原神社周辺とつばな保育園裏の土手、広瀬では大池の堤と戸井口の山の斜面で、それぞれ生育を確認しました。



ホタル調査は、5月下旬から6月初旬に行い、上茅原では太田集会所裏の六呂木川と周辺の小川、下茅原ではつばな保育園裏の六呂木川と茅原神社周辺の小川の水路、広瀬では広瀬神社横の風呂屋川と高速道路下の田んぼでそれぞれ生息を確認しました。

8月18日(月)、水質検査をつばな保育園裏の六呂木川、津留橋上流の櫛田川の2か所で行いました。結果は、昨年度同様、基準値内で問題ありませんでした。



花いっぱい運動は、年2回行い、7月6日(日)は、日々草、マリーゴールド、11月23日(日)は、パンジー、ビオラ、ハボタンの植え付けを行いました。三地区に8個ずつプランターをお渡しし、それぞれの場所に設置しました。



環境美化活動は、8月3日(日)に239名の参加がありました。(上茅原48名・下茅原79名・広瀬112名) 猛暑の中皆さまありがとうございました。2回目は12月7日(日)に231名の参加がありました。(上茅原55名・下茅原73名・広瀬103名) ご協力ありがとうございました。

役員の皆さまほか、たくさんの方々にお世話になりました。次年度もご協力のほど、よろしくお願いたします。本当にありがとうございました。

地域振興部会

今年度、地域振興部会では獣害対策と「つばなっ子を育てる会」の2つの活動を中心に取り組んできました。

① 獣害対策について

10月3日(金)、有志17名で伊賀市阿波地区市民センターを訪れ、獣害対策先進技術管理組合による講義を受講しました。



あわせて、現地にて実際の対策方法を見学し、今後の地域での獣害対策に活かすための貴重な学びの機会となりました。

② 「つばなっ子を育てる会」の活動

保育園児との交流を大切にしながら、年間を通してさまざまな活動を行いました。



5月:8日(木) 年長組と役員10名で夏野菜の植え付け

6月:2日(月) 年長組と役員6名でサツマイモ苗の植え付け体験

7月:29日(火) 年長組・先生・有志9名で川

遊び体験【12日(土)有志7名で六呂木川清掃】
9月:19日(金) 年長組・先生・有志9名で秋冬野菜の植え付け【12日(金)有志7名でつばな農園の整備】

10月:27日(月) 園児13名、先生5名、有志8名でさつまいも掘り体験を行いました。沢山収穫できたので園児たちは喜んで持ち帰りました。【8月24日(日)に有志4名で草取り】

③ 園芸教室

6月18日(水)に参加者12名が、JAみえなかいざわ支店 永田氏による夏野菜づくりの講習を受講しました。令和8年2月も実施予定です。

④ ふれあいまつり

11月23日(日)にふれあいまつりを開催し、当日は約350名の皆さまにご来場いただき、盛大に実施することができました。農産物品評会・即売会、花苗販売、飲食では焼きそば、焼芋、豚汁、コーヒー販売、各種ゲームなどの催しも行い、多くの方に楽しんでいただけたことと思います。役員の皆さまをはじめ、ご協力いただいた多くの皆さまに心より感謝申し上げます。



教育文化部会

教育文化部会では、今年度、皆様のご要望を受け復活した社会見学を9月17日(水)に実施しました。32名の参加で岐阜県へのバスツアーでした。京都伏見稲荷、愛知豊川稲荷と並び、日本三大稲荷の一つ、「おちょぼさん」の呼び名で親しまれている千代保稲荷神社で参拝、昼食を取り、その後で、岐阜県のシンボル、金華山へロープウェーで長良川のパンoramaを見ながら登りました。ここでは織田信長ゆかりの岐阜城を見学、楽市を散策して帰りました。バスでの旅は外の景色を見ながらゆったり楽しく、顔見知り同士、親交を深め



ることができました。

10月に行われた「ものづくり教室」は、お二人の講師を招き、「押し花」を作りました。これには19名の多くの皆さんの参加がありました。ふれあいまつりでその時作った作品が展示されました。2階の展示室でご覧になった方も多くいらっしゃると思います。色も形もそれは見事な作品ばかりでした。また、ふれあいまつりには、今年度もつばな保育園児との交流で作ったクリスマスリースの展示がされました。地域の皆さんのご協力であらかじめ、サツマイモのつるでリースを作り、それを保育園児の皆さんが地域の



方々と交流しながら色とりどりのビーズや飾りを取り付け、作品を作りました。

地域には子どもから子育て世代、高齢者まで、いろいろな世代の方がおり、また、性別によっても参加したい催し、要求は違いがあると思います。教育文化部会では多くの方々に楽しんでいただける催しを今後も検討していきたいと思っております。皆様には、このような催し、講座を、というご要望がありましたら、それぞれの立場から是非とも多くの声をお聞かせください。

今年度も事務局、役員、地域の皆さま方のお力添え、参加により、計画された活動を進めることができました。ありがとうございました。

特集 特集 民謡・里謡 わらべ歌

No.2

おさら

お一つ落としておさら
お二つ落としておさら
お三つ落としておさら
お手のせ お手のせおさら
おつかみ おつかみおさら
お左 ひいだりなかば
なかよ つまよ さらしこよ
しおつけ やっちょうめ
小さい橋しぐれ 小さい橋しぐれ
くぐり くぐっておさら
どの玉くれやんしょ この玉くれやんしょ

通りゃんせ

通りゃんせ 通りゃんせ ここはどここの細道
じゃ 天神様の細道じゃ用のない子は通しゃ
せん どうぞ通して下さんせ この子の七つ
のお祝いに おふだをおさめにまいます
いきはよいよい帰りわこわい こわいながら
も 通りゃんせ 通りゃんせ

ほととぎす

一番初めは一の宮 二は日光の東照宮
三はさぬきの金毘羅さん 四はまた信濃の善光寺
五は出雲の大社 六は村村鎮守様
七は成田の不動さん 八つ大和の法隆寺
九つ高野の弘法さん 十は所の氏神さん
これ迄信心込めたのに 浪子の病気はなおらぬか
武男が戦争に出る時は 白い 白い真っ白い
ハンカチふりふり ねあなた
早くかえって頂だいな ポッポッと出る汽車は
武男と浪子のわかれ汽車
泣いて血を吐くほととぎす
別れて血を吐くほととぎす

